

令和元年度ひきこもり地域支援センターの取組状況 (平成31年4月～令和元年12月)

ひきこもり地域支援センターでは、医療・保健・福祉・教育・労働及び市町村等関係機関の連携の強化を図りながら、ひきこもり本人や家族等の支援を行う。

(1) 相談対応の状況

<所内相談>

相談受理件数	911件	
内	電話相談	178件
	来所面接	733件

<主な紹介先>

若者サポートステーション	3
ジョブカフェこうち	0
療育福祉センター	0
保健所	3
市町村	7
医療機関	2
家族サロン	0
その他	14
計	29

<訪問（家庭訪問・関係機関同行）>

実件数	10件			
延件数	13件			
	<table border="0"> <tr> <td>家庭訪問</td> <td>: 7件</td> </tr> <tr> <td>関係機関同行</td> <td>: 6件</td> </tr> </table>	家庭訪問	: 7件	関係機関同行
家庭訪問	: 7件			
関係機関同行	: 6件			

(2) ひきこもり支援者連絡会議

さまざまな背景を持つひきこもり本人、家族等を支援する者が、相談内容等に
応じた適切な支援を行うため、有効な連携ができることを目的として連絡会議を
2回実施した。

- ・令和元年5月23日（木） 参加者数 33名
- ・令和元年12月12日（木） 参加者数 38名

(3) 関係機関支援（所外）

ア 関係機関とのケース会議、勉強会、業務検討会（随時実施）

イ 若者サポートステーションや市町村等との定期的な検討会

関係機関	実施回数	内 容
こうち若者サポートステーション	4回	ケース検討、勉強会、課題整理・検討、支援の振り返り等
いの町	4回	
須崎市	3回	※幡多福祉保健所管内での検討会のうち1回は、人材養成研修として実施
中土佐町	1回	
四万十町	2回	
幡多福祉保健所管内6市町村※	3回	

(4) ひきこもり支援者人材養成研修

ひきこもり本人、家族等の支援に従事する職員等を対象に、ひきこもり支援について学ぶ場（講師：境 泉洋先生）と事例検討・事例研究を通して、ひきこもりに関する理解を深め、支援のスキルの向上を図ることを目的に研修会を2回実施した。

- ・令和元年6月17日（月）（高知市内） 参加者数 106名
- ・令和元年9月30日（月）（四万十市） 参加者数 18名

(5) ひきこもりに関する普及啓発地域講演会

さまざまな立場の方がひきこもりの理解を深め、地域社会の中でのひきこもり支援、若者支援を充実させることを目的として講演・対談（講師：泉 翔氏）、交流会を実施した。

- ・令和元年11月27日（水） 参加者数 96名

(6) 居場所づくり支援

ア ひきこもり家族の居場所への協力

毎週火曜日に開催される家族サロンへの場所の提供

（「家族サロン」の実施主体は「KHJ全国ひきこもり家族会連合会高知県支部」）

イ ひきこもり本人への支援

ひきこもり本人への居場所づくりとしてグループ活動（青年期の集い：39歳までのひきこもり当事者を対象）を実施した。室内スポーツ創作活動、外出、外部講師による学習会などの内容で、毎週水曜日の午後開催し、29回、延べ154人が参加。別途女子ミーティングも再開し、6回開催、延べ14人が参加

(7) 社会体験事業

ひきこもり本人が自分のできる仕事や活動について自信をつけ、今後の生活について具体的なイメージを持てるようになることを目的に、一般の事業所で就労体験を行う機会を提供した。

- ・体験者数1名、体験人数2日

(8) ひきこもり体験者による個別交流事業

ひきこもり状態にある人が、ひきこもり地域支援センターの相談場面で、個別に同じような体験を持つ人（ピア活動メンバー）の話を聞き、交流を持つことで、新しい気づきを得たり、今後の取り組みを考える機会となる場を提供。

(9) 普及啓発

ひきこもりに関する講演会、研修会の講師の依頼に対し、6回職員を派遣した。